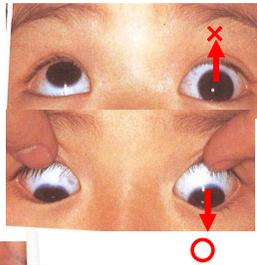


眼球運動検査-Bell 現象; 閉瞼反応検査

丸尾敏夫・久保田伸枝: 斜視と眼球運動異常 P80
上転障害のある被検者



目的

上転障害がある場合、生理学的な協調運動を利用して、運動障害が中枢性か末梢性かの鑑別

参考

Bell 現象の正確なメカニズムについてはわかっていないが、橋に存在する顔面神経核と中脳背側に存在する動眼神経核の間の脳幹部経路が関係していると考えられている。

上転障害のある被検者に強く閉瞼を命じる

閉瞼のままであることを指示し、検者は瞼裂を無理に開いてみる

強膜だけになったり又は上眼瞼から眼球が下がってくるか?

YES

Bell 現象(+)

中枢性(核上性)麻痺

判定例)

Parinaud 症候群
double elevator palsy 他

NO

Bell 現象(-)

末梢性(核及び核下性)麻痺

YES

牽引試験(FDT)を行なうと抵抗があるか?

NO

眼窩吹き抜け骨折
甲状腺眼症他

上直筋
下斜筋麻痺他



しかし生来より Bell 現象がない人もいますので、(+)だった人が(-)となった場合のみしか判定できない。